

## インターンシップを終えて

長崎大学 多文化社会学部 1年 山田陽菜乃

約2か月間、大変お世話になりました。初めて岩田議員にお会いしたとき、とても緊張したことを今でも鮮明に覚えています。大学に進学するまでの18年間、熊本に住んでいたにも関わらず、私は熊本についてあまりにも無知だということを感じた2か月間でした。初めて知る全てのものが興味深く、このインターンに参加して本当によかったなど強く感じました。様々な活動に参加していくうちに、熊本県が抱えている問題を知ることができたり、それらを解決するために行われている活動を知ることができたりしたため、現在、長崎に住んでいるにも関わらず、今までよりももっと熊本を身近に感じるようになりました。

一番印象に残っている活動はシングルマザーの方々へ支援物資を用意したことです。身近にシングルマザーがいなかったため、今までシングルマザーの方々に対してどのような支援がなされていたのか全く知りませんでした。熊本県で行われている支援は、実際に食料などをたくさん届けるというもので、経済的に困窮しているの方々にとって、とても役に立つものであると感じました。この活動は私だけではなく、メンバー全員の印象に残っており、未来国会での一つのテーマとさせていただきました。男性に比べて女性は賃金が少ないこと、また子供を抱えながら働くことがキャリア形成をより困難にしてしまうことなど、シングルマザーを取り巻く環境が想像よりも大変だということを実感しました。私はこれからどのような人生を送るのか分かりませんが、もしも子供を一人で抱えて働くことになっても、熊本県のサポートがあれば安心できると思いました。

また、熊本県の県議員には女性がほとんどいないことは衝撃的でした。議会を傍聴した際、並んでいる議員の方々の多くが男性で、私たちの暮らしに直結する様々なものが、男性優位な環境で決定づけられていることを肌で感じることができました。この経験により、男女平等の大切さや女性の声を政治に反映することの難しさを感じ、私たち女性が政治に参加する重要性を再認識しました。

このインターンシップに参加して、新たなことをたくさん学ぶことができ、とても有意義な夏休みとなりました。お忙しい中、私たちインターン生を受け入れてくださった岩田議員、私たちのサポートをしてくださった濱洲さん、本当にありがとうございました。